

令和3年度 真岡市立大内中学校 教職員による学校評価(自己評価)

1 学校教育目標

- 1 意欲をもって学習する生徒
- 2 健康で実践力に富む生徒
- 3 豊かな心情をもつ生徒
- 4 すすんで働く生徒

2 学校経営の方針

- 1 教職員としての使命を自覚し、自ら資質の向上に努め、互いに連携協力して職務の遂行にあたり、生徒と共に伸びようとする教師集団を目指す。
- 2 生きる力をはぐくむ創意ある教育課程を編成し、生徒が分かる、楽しい授業を展開し、確かな学力と学習意欲をはぐくむ学習指導の充実に努める。
- 3 望ましい人間関係、豊かな人間関係づくりに配慮した学年・学級経営の充実に努め、道徳教育や人権教育を一層推進し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成に努める。
- 4 心身の健康と自他の生命尊重を基盤とした健康・安全教育と体力づくりの充実に努める。
- 5 家庭・地域社会・関係機関との連携・協力を図り、保護者や地域の方、関係者との対話を大切にしながら、地域と共にある学校づくりを進める。

3 今年度の努力点

- 1 学習指導の工夫・改善
- 2 心の教育の推進～豊かな人間関係づくり
- 3 安全教育・保健教育・健康教育の充実
- 4 地域と共にある学校づくり～社会に開かれた教育課程の推進

4 評価表

自己評価の評価欄に、「よくあてはまる」:A、「概ねあてはまる」:B、「あまりあてはまらない」:C、「あてはまらない」:D を入力(自己評価がDの場合は改善意見を記入)。総合評価欄には入力しない。

項目	評価指標	総合評価	具体的評価指標	自己評価		
				評価	達成状況(良い点) 意見(さらに良くするには)	
1 教育課程	・教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気、生徒は生き生きと生活している。 ・教職員は、責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる。		①学校の教育目標や生徒の実態、保護者や地域の意見・要望等を踏まえ、指導目標等を適切に設定している。	A	・保護者との連絡を密にするように心がけられた。	
			②学校の教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解を図っている。	A		
			③教育課程の実施に必要な各教科ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。	A		・スズキ校務の週案は学年毎などの時間割の融通がきかなく、実際との差が大きすぎるので、来年は使用するかどうか要検討だと思います。
			④授業時数は適切に確保されている。	A	・分散登校があつたが、昨年度の経験を生かしてやりくりできていたと思います。 ・年計通りに授業が進められている。	
2 学習指導	・教職員は、生徒に「確かな学力」を身に付けさせるために努力している。		①基礎・基本の確実な定着を目指して、分かりやすい説明、板書、発問の工夫、ICTの利用等を取り入れ、ねらいを明確にした授業に努めている。	A	・毎時間ICTの利用をしながら授業を進められている。 ・ICT機器の活用は、各先生方が積極的に行ってくれていると思います。 ・ICTの積極的利用が図れた分かりやすい説明を目指し、授業改善を続けたい。	・生徒がタブレットを利用する授業を工夫していきたい。
			②教師の協力的な指導等の下に、TTなどによる個に応じた指導に努めている。	A	・免外の教科であることもあり、TTでの授業は、生徒の基礎・基本の定着に有効だと感じている。	
			③全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、真岡市総合学力調査の結果を踏まえた学習指導の改善に努めている。	A	・真岡市総合学力調査の結果を活かしていきたい。 ・活用しやすいように過去問題の置き場所を作ればと考えているのですが、どこかにおける場所を作りたいです。 ・授業を大切にすること、学力向上については意識を高くもっていた。	
			④グループ学習や考えを書く活動を取り入れるなどして、言語活動や生徒主体の学習活動の充実に努めている。	A		・単元の構成上グループ学習を取り入れられるところで実施予定。
			⑤各教科等で身に付けた知識や技能等との関連を図った総合的な学習の時間を展開している。	A	・ICTの活用については十分なされている。 ・調べ学習等で活かされている。 ・探求的活動が充実するとよい。	・更に探求的な学習となるよう、各教科で養っている見方や考え方について具体的な助言をしながら気づかせたい。

3 指導 キャリア教育・進路	・教職員は、生徒が将来の生活によりよく適応し、進歩する能力を伸長できるよう努めている。	①日々の学校生活において、生徒が自分の良いところに気づいたり、夢や希望を持って自分を伸ばそうと努力したりするように、学級での個別指導や学年での全体指導に努めている。	A	・立志式に向けた誓いの言葉で、将来の夢についてはっきり考えがまとめられている。 ・学校課題説明や特活研修に向けて意欲的に取り組んだ。	
		②適切な勤労観・職業観などに基づき生徒が主体的に進路を選択する能力・態度の育成のための指導を実践している。	A	・それぞれが自分なりの職業観を持つことができている。 ・キャリア教育に重点を置いた指導が充実してきた。	
4 心の教育・道徳教育	・教職員は生徒が豊かな心をはぐくみ、道徳的実践力が身につくように心の教育及び道徳教育の充実に努めている。	①自然教室や修学旅行などの集団宿泊活動・体験活動等を通して、生徒に豊かな心をはぐくまれるように努めている。	B	・コロナ禍でも修学旅行が実施できたのはよかったと思う。 ・実行委員等、一人一人の活躍の場を設定している。 ・コロナ禍の心配から、十分には機会を与えてやれなかった。	・十分な宿泊、体験活動が出来ない中、生徒の心の成長を図れる活動・体験をコロナ禍では進めていかなければならない。 ・新型コロナウイルスの対応により致し方ないと思います。 ・実施していない。
		②善悪についての判断力、社会生活のルールやマナー、道徳的実践力が身に付くように道徳の時間の授業の工夫改善や日々の指導に努めている。	A	・ほとんどの生徒がしっかりした道徳観を持って生活できている。	
5 生徒指導	・教職員は、生徒が希望や目標をもって学校生活に取り組めるよう指導・援助している。	①生徒指導全体計画を整備し、生徒が希望や目標をもって学校生活に取り組めるように、全教職員の共通理解を図って指導・援助に努めている。	A	・生徒指導部会など、情報の共有がよくなされていると感じる。 ・職員が共通行動する意識を持って取り組んでいる。	
		②社会生活のルールやマナーを守るなどの規範意識を育て、基本的な生活習慣を身に付けさせる指導に努めている。	A	・あいさつの励行や言葉遣いなど学年集会等で指導している。	
		③学校の雰囲気が温かく、生徒が安心して学習や生活に取り組める人間関係づくりに努めている。	A	・職員室の雰囲気は明るく、教員同士が仲が良い。 ・教職員の人権感覚をさらに磨いていきたい。	
		④問題行動等の予防に努めるとともに、何かが発生した場合は、共通理解を図り、保護者や関係機関とも連携して適切に対応している。	A	・学年間を超え、職員間の連携がとれている。 ・学校体制で対応できている。 ・教員間の共通理解はよく図られていると思います。	・生徒の問題行動が発生している中、教師側の共通理解を図り、生徒への指導、今後の指導も含め生徒の判断力を身に付けさせていかなければならない。
		⑤定期的な教育相談や日常的な生徒との対話、個別相談などにより、よりよい生徒理解に努めている。	A	・生徒指導部会や主任会、学年会等で生徒理解が深められている。	
6 人権教育	・教職員は、一人一人を大切に、生徒が互いのよさを認め合い、人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	①人権教育の全体計画・年間指導計画を整備し、望ましい人間関係づくりや学級の団結力醸成などに全職員で努めている。	A		
		②各教科等の特質に応じ「育てたい能力・態度」を週案に明記するなどして、その育成に努めている。	A		・スズキ校務では入力されないため、手書きで対応する必要があります。
		③教職員自らの人権感覚を磨くため、校内研修を行っている。	A	・参加した人権の研修をもとに、校内での研修を行った。 ・計画的に研修が行われている。 ・実践的な校内研修について工夫したい。	
7 特別支援教育	・教職員は、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育的支援を行っている。	①校内支援体制を整備し、教育的支援が必要な生徒についての共通理解と具体的な支援に努めている。	A	・TTや取り出しなど生徒に合わせた指導が行われている。	・教育支援が必要な生徒が多い中、早めに問題行動を把握し、配慮を要する生徒への支援を図っていかなければならない。
		②個別の教育支援計画を適切に作成し、共通理解と活用に努めている。	A		
		③生徒の実態に応じて医療、福祉など関係機関等との連携を図り、学区内小学校との情報交換や連携にも努めている。	A		・情報交換会で各小学校との情報交換を行っているが、校内でそれを共有してもらえないよう努めたい。

8 保健安全・健康教育	・学校は、生徒及び教職員の健康の保持増進に努めている。 ・学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	①生徒を対象とする保健(薬物乱用防止、心のケア等を含む)に関する体制を整備している。	A	・外部講師による講話が生徒によく響いているなど感じる事が多かった。	
		②日常の健康観察や、疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組を適切に実施している。	A		
		③健康診断や環境衛生検査を適切に実施し、事後措置の徹底を図っている。	A		
		④食育に関する指導を各学年の年間指導計画に位置付け、適切に実施している。	A	・給食の掲示物や一口メモの放送、配膳室や教室の配膳時の衛生管理をよく行った。	・残量が多いため、中学生のバランスよい食事、摂取量について生徒が機会をとらえて学べると良い。 ・バイキング給食→講話ができないのは残念です。
		⑤生徒の傷病や心の健康に関する対応・処置を適切に行っている。	A		・コロナの関係で厳しいかもしれないが、AEDの実習などを職員研修に合わせて生徒も実施できないか
		⑥学校事故等の緊急時に適切な対応ができるよう、危機管理マニュアル等を作成・活用している。	A	・実効性のあるものになるよう、定期的に活用と見直しを図りたい。	
		⑦安全点検(通学路を含む)を組織的、計画的に実施し、危険を防止するための措置を講じている。	A	・安全点検の事後措置を力をいれて行うことができた。 ・交通指導や下校指導をよく実施している。	
		⑧防犯に関する訓練等を適切に実施し、教職員及び生徒の安全対応能力の向上に努めている。	A		
		⑨火災・地震等の非常災害に対する防災計画に従い、対策を立てて実践している。	A	・災害時の対応の仕方がよく学べた。	
9 組織運営	・教職員は、一致協力し、組織的、機動的な運営に努めている。	①教育目標の具現化に向けて、教職員が一致協力して取り組むように努めている。	A	・教育目標・経営方針に沿うような保健室経営を行った	
		②校務分掌や各主任の役割が適切に機能している。	A	・さらに円滑に進められるよう、改善、連携を進めたい。	・新採が多く入ったことで、校務分掌のバランスが悪くなっている。来年度は見直しが必要だと思います。
		③各種文書や個人情報等の学校が保有する情報を適切に管理している。	A	・個人情報の文書管理についてはさらなる注意喚起をしたい。	・個人情報が含まれる文書を廃棄年度に確実にシュレッダー処理できるように、保管の工夫や徹底が必要だと感じた。
10 研修	・教職員は、定期的に研修会を開き、よりよい授業を目指して学び合っている。	①校内の研究組織や体制を整備している。	A		・研修方法などについて改善が必要(内容や時間・実施方法)
		②学校課題解明のための授業研究を計画的に行い、授業改善に取り組んでいる。	A	・時間をやりくりしての一人一授業により、よい研修ができた。	
		③研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めている。	A	・意識をして各種研修会に参加することができた。 ・ICTの使い方がよく分かった。 ・教員としての資質向上に向けて前向きだった。	
11 学校評価	・学校は、学校評価を計画的に行い、改善を図るとともに、その結果を公表している。	①学校運営への参画意識が高まるように、次年度の計画作成の前に自己評価を元に職員で話し合うようにしている。	A		
		②保護者や生徒へのアンケート等を実施し、自己評価を行う上での参考としている。	A	・授業力向上アンケートで授業改善を行えた。	

12	情報提供		①学校通信や学校HP、学年だより等により、学校の様子が地域や家庭に伝わるように努めている。	A	・お便りの発行を行った。 ・コロナ禍で地域住民の方などの行事への参加が限られる中で、わかりやすく親しみやすい内容のHPや学校だよりだと思ふ。	・白黒印刷の写真では、生徒の様子が伝わりづらい。
			②学校行事やPTA行事等について、意見聴取や懇談・情報提供の機会を設けている。	A	・コロナ関係でなかなか機会が設けられなかったのではないかと思ふ。 ・双方向のやりとりができることを目指したい	
13	保護者・地域住民との連携		①保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に取り入れている。	A	・コロナ禍でも、行事への参加の機会が少しでも増えるように工夫がされていると思ふた。 ・コロナ禍でも、可能な限り開放に務めた。	
			②地域連携教員を校務分掌に位置付け、窓口の明確化を図って地域連携に努めている。	A		
			③緊急時のメール配信システムを活用し、保護者への連絡を円滑に行い、理解と協力が得られるように努めている。	A		
14	教育環境整備		①教材・教具の整備と活用に努めている。	A	・ICTの活用を積極的に行った。	・時間に余裕があれば、職員作業として教材備品の確認ができるよ。い。 ・教科によっては、教具が古くなっているの、更新していかなければならない。
			②図書の配架を適切に行い、進んで読書する生徒の育成を図る環境整備に努めている。	A	・研修等で図書室を活用することで、教職員にとっても身近な場所となるように意識をした。 ・司書の先生の協力のもとに環境整備が進められ、図書室が明るくより利用しやすい雰囲気になった。 ・季節にあった掲示や工夫がされている。 ・新着図書も多く、利用の活性化につながっている。 ・書架の入れ替えや図書室の整備に向けて司書さん、用務員さんに尽力していただいた。	
			③校舎等の修理・防災・戸締まり等が適切に管理されている。	A	・安全点検の事後措置を力を入れて行った。	・体育館の支柱の修繕を依頼中です。東側の1箇所が不安定です。 ・日直時の見回りを徹底したい。

○自由記述 その他お気づきの点があれば忌憚なく書いてください。

・現在も各項目(各教育)は充実していると思ふが、今後、さらに充実させていくためにも、働き方改革として何かを削っていく必要もあるのではないかと思ふ。各項目に関係する行事を、複合的なものにする事で1度で2つの項目を兼ねることができるようにしていくのも1つではないかと思ふ。例:人権教育と道徳教育、キャリア指導と健康教育、人権教育と健康教育など、○○委員会を職員会議に兼ねる等)

・タブレット端末の使用によって、支出がこれまでと変化していくのではないかと思ふ。(例:紙代が減り、カラーインク代が増える等)教育環境の整備をしていくという点で、全職員でお金をかけるべきところと抑えるべきところを考えていかなければいけないのではないかと思ふ。

・働き方改革があまり進んでいないように感じます。職員会議のペーパーレス化は、紙の削減にもなるので、ぜひお願いしたいです。また、部活動についても、少し考えていく必要があるのではないかと思ふ。部員数は各部確保はできています上、生徒の選択肢を減らさないという面を考えても、まだ、現状維持が妥当かと考えます。しかし、今後クラブへ通う生徒が増えたり、部員数を確保できない部がでてきたり、顧問が2人でも負担が大きいということがおきてくれば、部活動を減らしたり、顧問を3人体制というのも検討していかなければならないのではないかと感じます。

・部活動の活動規定を明確にした方が良く思ふ。大会ではなく日曜日に活動をしていたり、平日の活動時間を超えて活動をしていたりする部活があります。規定をもう一度明確にし、顧問が守る意識をもったほうがよいかと思ふ。

・ついプリンターの設定を変え忘れたまま、普通にカラー印刷をしてしまうことがある。予算の工面で、事務主任さんが矢面に立っていることを考えると、カラー印刷についてはもっと注意し、無駄遣いは削減しなくてはと反省する。

・授業や集会など生活態度は良いと思ふが、返事や発言の声の小ささについては、自己表現のできない雰囲気(笑われる、馬鹿にされるなど)があるのかと心配になる。いじめゼロとは回答しているので、不慣れなだけならもっと学習訓練や啓発をしたい。

・ブロック内でよく会話がなされていた(と見えた)。仕事なので、考え方が違ったり、意見がぶつかったりすることも当然あるが、主任を中心にそれぞれを尊重し合いながら、ベクトルを合わせていた。互いの特徴や得手不得手をわかり合おうとする思いやりを感じた。